

(5) 学校図書館での取組み

学校における子ども読書活動の推進を図るため、授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて、読書教育の取組みを進めています。また、読書や本への興味が持てるようなさまざまな機会を作っています。

**☆小学4年生で行った“リテラチャー・サークル”  
～読書をより豊かにするための取組みと、学校図書館の支援**

リテラチャー・サークル（Literature Circle）とは、仲間うちで同じ本を読み、お互いどう読んだかを伝えあい、共有する読書活動です。庄内小学校の4年生は、本好きが多かったのですが、1冊の本をより深く読めるようになる手段はないかと思っていたところ、リテラチャー・サークルを知り、足立幸子氏（新潟大学教育学准教授）の講演に担任、司書教諭、学校司書が参加。研修で学んだこの手法に取組みました。その実践を紹介します。

- ① テーマを「友だち」と決め、読んでほしい本を選定。41人クラスだったので、1グループを3～5人として、9冊の本を選ぶことにした。それぞれグループごとに同じ本が必要なので、公共図書館や他校に協力を要請。複本を借りることができるかどうか確かめながら選書した。
- ② 選んだ9冊の本を、子どもたちに「読みたい」という気持ちになってもらえるように紹介。読みたくなった本のアンケートをとり、希望の本を読めるようにグループ分けした。
- ③ 各グループごとに、1冊の本を数回に区切りながら読み進めていった。
- ④ 子どもたちは、自分の役割（「思い出し屋」「イラスト屋」「質問屋」「だんらく屋」「ことば屋」）に従って、決められた範囲を読み、読んだ内容をお互いに披露し、話し合った。

読みたい本にチェック！

グループごとに  
集中して読んでいます！



役割シートに記入

話し合いに際しては、役割シートを用意し、読んで考えたことを、まずシートに書き込み、その後話し合いました。つまり、「読む→書く→話し合う」を繰り返すのです。普段なかなか本を読めない子どもも、静かに集中して読み、しっかりと1冊を読み切りました。

担任からは、「役割があることで、様々な場面を丁寧に、深く読み進めているようで、気付いたことも多かったようです。ただ、お互いに感想は言えても、“話し合い”は難しかったようで、それは今後の課題です。けれども、こうした読書活動が、子どもたちを本に誘い、“優れた読み手”を作る第一歩になると確信できました」との言葉がありました。

## ☆学校図書館の小・中連携～義務教育 9 年間 を見据えた情報教育～

第八中学校の校区(東丘小学校・北丘小学校・第八中学校)は平成 18 年度から「小中一貫教育推進事業モデル校区」に指定され、不登校対応への合同研修等からスタートして、クラブ見学会や、三教科で毎週 2 時間、中学校教員が小学校で補助授業を実施するなどさまざまな取組みが行われています。

学校図書館でもさらなる連携強化をめざして、平成 24 年度から司書教諭、図書館担当教諭、学校司書をメンバーに「学校図書館小中連携会議」を発足し、新たな活動をスタートしました。

まず取り組んだのは「学校図書館における情報教育の体系表」の一本化です。

情報教育を行う上で準拠する「体系表」を小中 9 年間を見据えたものにするすることで、子どもの発達段階に応じて、より柔軟に、より意識的に取り組むことを目的にしています。



また、北丘小学校が作成した『調べ学習のコツ』を利用指導のメソッドとして共有し、情報カードも共有のフォーマットを作成しました。小学校で学んだ調べ学習のスキルを中学校でも活かすことができ、確実に定着させるのがねらいです。



北丘小学校の夏季研修で第八中学校と東丘小学校の司書教諭・学校司書が各校の取組みを紹介する交流も行いました。

この他、中学 1 年国語の授業で取り組んだ「学校図書館でおすすめの本を紹介する」の内容を撮影し、それをもとに小学校で「ビブリオバトル」をしました。この活動は子どもたちにも好評で、中学校図書館への期待や興味を高めるのに大きな効果がありました。

この他、中学 1 年国語の授業で取り組んだ「学校図書館でおすすめの本を紹介する」の内容を撮影し、それをもとに小学校で「ビブリオバトル」をしました。この活動は子どもたちにも好評で、中学校図書館への期待や興味を高めるのに大きな効果がありました。

広報活動としては、図書委員会主催の「しおりコンテスト」や「本の帯コンテスト」「おすすめ本の紹介ポップ」等のイベントへの応募作品や、千里図書館で開催された「学校図書館大集合」に出展したパネルを、三校で巡回展示し「小中連携」をアピールしました。

教職員向けには「三校合同としょかん通信」を発行して、連携会議の取組みなどを紹介しました。

また、卒業前の 6 年生に向けては八中図書館に親しみを持ってもらえるよう「八中図書館ってどんなところ?」というナビを三校の学校司書が協力して作成し、配布しています。

